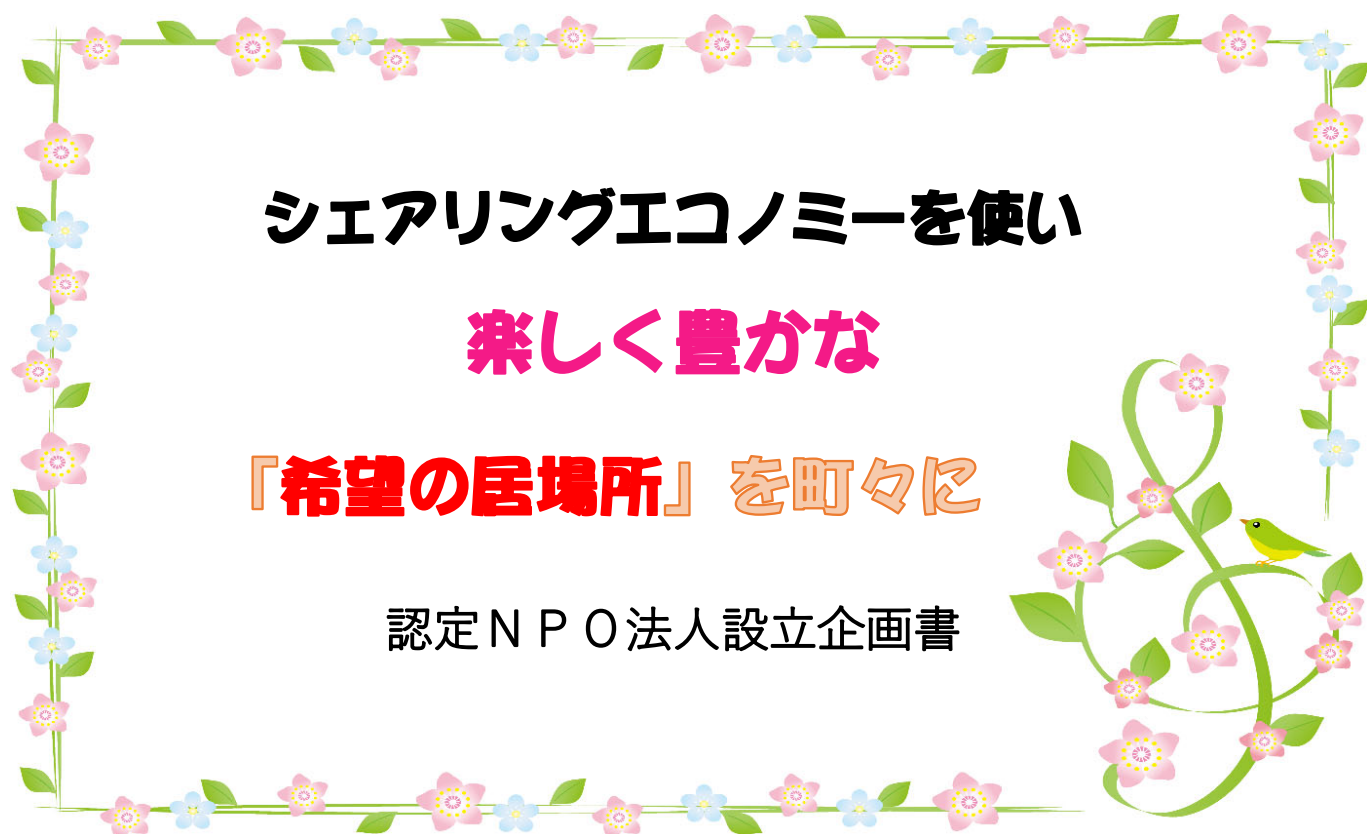




シェアリングエコノミーを使い

楽しく豊かな

「希望の居場所」を町々に

認定NPO法人設立企画書

人が輝く新しいコミュニティを
地域が輝く安心・安全の新しいセーフティネットを
認定NPO法人希望の居場所を設立し、実現する

相互扶助の未来社会のデザイン

人を活かす、空き家を活かすシェアリングエコノミーを使い
楽しく豊かな居場所を町々に・・・

■ 「人を活かす場を創る」が原点

私は、修験道総本山の奈良吉野山金峯山寺で、阿闍梨の僧籍をいただいています。25歳で便利屋前田商店を始め、年商9億円の建築会社を経営し、51歳で破綻。その後も含め波乱万丈の人生を歩みました。

今も元気に働かせていただいています。それは、明確なミッションがあるからです。「人を活かす場を創り、社会を進化発展させる」この使命のもと59歳で「一般社団まちづくりのシニアコミュニティ」を設立しました。



「人を活かす場」として、3つの活動をしています。

① 1000人文化祭

「人を活かす、文化を創る」をコンセプトにしたTED形式のプレゼンショーです。夢やアイデア、強みを語り、共感と支援の輪を広げます。ビジョンは、アイデアの宝庫となり、その組合せからイノベーションを起こすことです。10月20日(日)に 第4回1000人文化祭を行います。

② チーム夢

誰もが幸せになりたい。それならば、夢を持ち、志とし、計画し実行する。そして、成果を上げ、夢を叶え、幸せになる。その考え方からチーム夢が生まれました。「自由な発想で夢を描き、チームで夢を叶える」という活動です。毎月例会とご飯会を開き、20回を超えています。

③ 希望の居場所

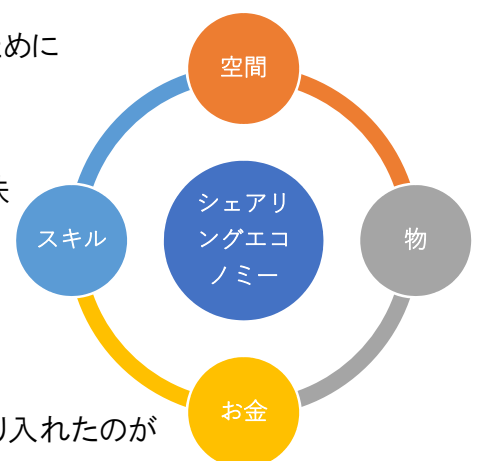
多くの人が、ホッとする居場所を求めています。大阪都島区に「人を活かす場」として、希望の居場所都島基地を開き、ここを拠点として活動しています。

■ 希望の居場所の事業化

長く神戸に住み、灘神戸生協に親しんでいました。「一人は万人のために 万人は一人のために」という相互扶助の精神が好きでした。

チーム夢メンバーの多くの方の夢に居場所づくりがありました。相互扶助の精神を持ったコミュニティ、居場所が社会に求められています。需要があるなら、しっかり事業化できると思い、楽しく豊かな希望の居場所を全国に作っていきます。

「人を活かす場」が原点です。「在るものを活かす」にテクノロジーを取り入れたのがシェアリングエコノミーです。人(スキル)、場(空間)、物、そして、お金を活かす居場所を作っていきます。

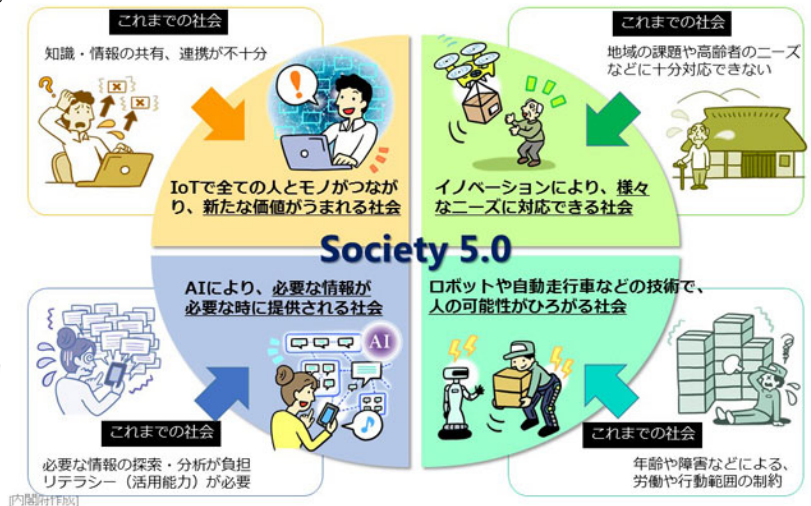


相互扶助には、高い透明性が必要です。行政の監査を受ける認定NPO法人希望の居場所を目指します。シェアリングエコノミーの高いテクノロジーを得るには、支援者と資金が必要です。この希望の居場所を全国に普及するための事業計画を立てました。

■ Society 5.0 の新しいコミュニティ

ソサエティ5.0という新しい社会が到来します。情報社会(ソサエティ4.0)に IoTやAIが加わり、リアルタイムに情報や知識が共有化され、社会の課題や困難が克服されます。調和のとれた生命体のように活動する社会です。

希望の居場所は、ソサエティ5.0のテクノロジーを取り入れていきます。在るものを活かすというシェアリングエコノミーに膨大な情報を集約します。それを個人にフィードバックし、成果を上げ、幸せを掴みます。更に コミュニティで共有し、社会や地域に貢献をします。



我々は、ソサエティ5.0社会で、以下3つを融合させた新しいコミュニティ、希望の居場所を創ります。

- ① 希望の持てるコミュニティ
- ② 世代を超えて互いを尊重し合えるコミュニティ
- ③ 一人ひとりが快適に活躍できるコミュニティ

■ 夢が叶うプラットフォーム

新しいコミュニティには、大きな可能性があります。人口減少に入った日本は、今以上に閉塞感に苛まれます。夢が持てない環境となってきました。そんな中、楽しく豊かな希望の居場所に在すれば、夢や目標を持ち、ポジティブとなります。テクノロジーを使い、膨大な人的、社会的ネットワークが繋がり、その夢や目標が叶います。そうすれば、日本の閉塞感打破の一助となります。

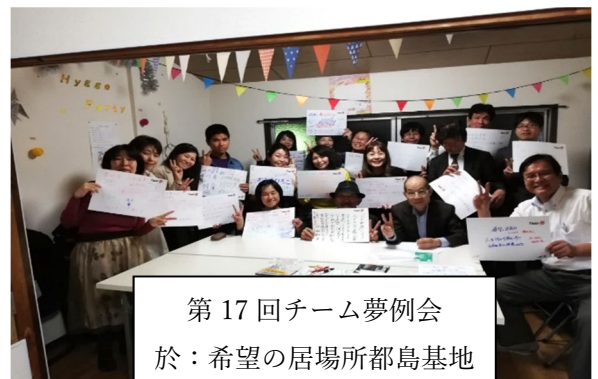
希望の居場所は、個人だけでなく、地域社会にも大きな可能性を広げます。

- ① コミュニティが地域課題を拾い出し、ソリューションします。
- ② 地域の在るもの情報の発信により、地域が活性化されます。
- ③ Society5.0の環境をいち早く提供し、快適環境を提供します。

シェアリングエコノミーを使った楽しく豊かな希望の居場所のプラットフォームは、大きく3つあります。

- ① 空き家の利活用・・・空間のシェアリングエコノミー
- ② 人、働き方の利活用・・・スキルのシェアリングエコノミー
- ③ 相互扶助による利活用・・・お金・モノのシェアリングエコノミー

希望の居場所を全国に普及する大いなる「夢」を志とし、計画し、実行し、多々の問題点をクリアし、成果を上げ、夢を叶えます。そして、集う多くの人を幸せにします。



■ 空き家を希望の居場所として利活用…空間のシェアリングエコノミー

全国に846万戸の空き家があり、大阪府は、全国平均を上回る15.2%の空き家率です。空き家所有者には、空き家を利活用するという考えがあまりないようです。

毎月開いています「チーム夢」の半数近くの方が、居場所をつくる夢を描いています。増え続ける空き家を多くの需要がある希望の居場所に利活用します。

認定NPO法人希望の居場所を設立する要因の一つが社会的信用の確立です。空き家が必要になられたら即時に返還します。防犯カメラ設置や住まいの管理も行います。固定資産税や水道光熱費の最低限の負担をします。希望の居場所に適したリノベーションを行い、費用を負担します。信用ある認定NPO法人が、地域貢献のため安心・安全に 利活用します。



空き家のスペースを主として会員向けとして、以下の利用目的で活用します。

- ① 相互扶助の誠心の元、一人ひとりが快適に過ごせる利用
- ② 希望を持ち、社会に活躍できる自己啓発の活用
- ③ 会員相互がリスペクトしながらの懇親の利用
- ④ 希望の居場所を維持・展開するための事業
- ⑤ 地域貢献や弱者救済のための事業

明るく朗らかな楽しい居場所とします。チームで夢を叶える「チーム夢」、食を作り食す「ご飯会」、スキルアップの「勉強会」(スマホの利用講習など)、健康を維持するための教室、カラオケや健康麻雀などの娯楽などです。

希望の居場所の利用状況、予約申し込みなどは、スマホで行います。本部では、テクノロジーを使い空間のシェアリングエコノミーの一括管理を行います。監視カメラからの不正もチェックします。

希望の居場所の運営には、ダイバーシティの多様性を認め合う気持ちが必要です。老若男女、いろいろな多様性があります。そして、外国人もこれ以上に地域に住み出します。地域の治安上、外国人と乖離するのでなく、外国の多様性も認め、会員となり、地域の一員として、地域を楽しんでもらいます。



ますます高齢化社会になってきます。高齢者だけでなく、多くの孤立状況が増えてきます。地域の孤立者をダイバーシティの精神で受け入れます。いざという時に地域に信頼できる関係者が必要です。高齢者を含め孤立者を救済するセーフティネットの役目を果たしていきます。

子供もセーフティネットに入れる必要性を感じる事件事故が多発しています。希望の居場所には、「こどもひなんしょ」の看板をあげておきます。テクノロジーを使った希望の居場所では、緊急時に対応します。

近隣の不安要因である空き家を希望の居場所とすることで、地域に安心安全をもたらします。

■ 人を活かす希望の居場所…スキルのシェアリングエコノミー

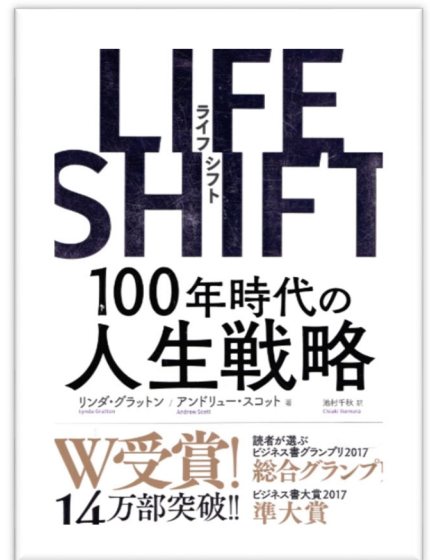
財務省が、老後資金2000万円が必要と一時発表しました。年金財政は、破綻寸前です。iPS 細胞などの医療技術の進化が、健康保険財政も圧迫しています。

人生100年時代となり、一生の資金計画に正面から立ち向かわねば、なりません。LIFESHIFTという本には、その計画が書かれています。

老後になる前に無形の3つの資産を持つべきとあります。

- ① 生産性資産 収入を得るための知識、スキル経験を活かす環境
- ② 活力資産 健康、バランスの取れた生き方
- ③ 変身資産 現状から変わる力、多様性に富んだ人脈

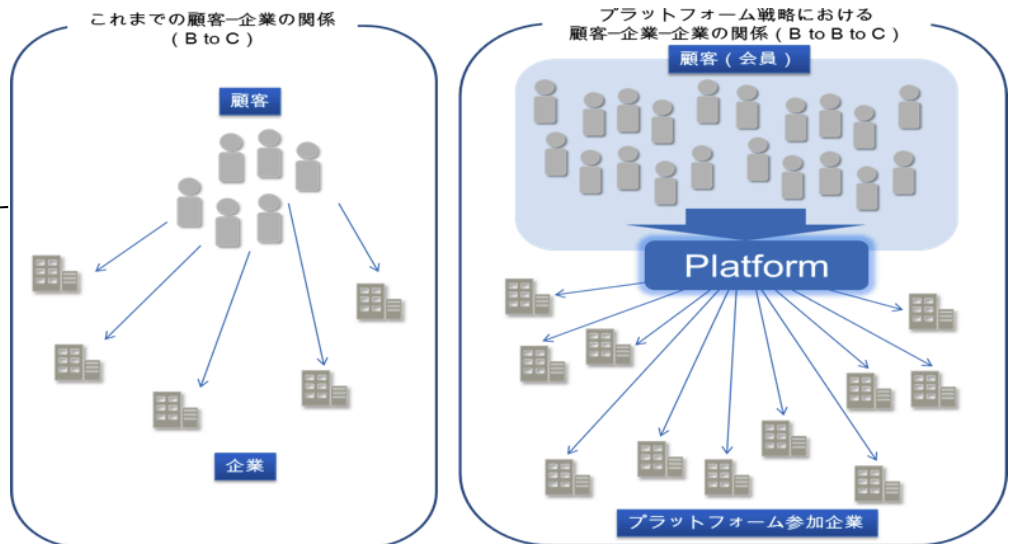
希望の居場所は、この無形の3つの資産形成をする場となります。



有形のお金の資産も必要です。多くの企業が、複数の収入源を持つことを容認しています。フリーランスの方も増えてきています。

希望の居場所が新しい働き
のプラットフォームを構築しま
す。シェアワーカーをサポートす
る個人会員制度のシェアサー
ビスです。

個人のスキルや経験、働き
条件を集約します。地域の求
人をしている企業とのマッチン
グをサポートします。職業安定
法に違反するので 職業紹介業者と連携していきます。



老後資金2000万円が無ければ、数10年の老後は生きていけないのでしょうか？私は、希望の居場所
に集えば、楽しく豊かに暮らせるようにしたいという考えです。相互扶助のコミュニティを作り、高齢者も
シングルマザーもどんな人でも会員として受け入れていきます。そこには、しっかりしたルールは設けます。

「人を活かす場」に高いテクノロジーを加え、会員が社会に貢献する場を作っていきます。希望の居場所
での働きにも対価を支払います。例えば、スマホやパソコンのスキルを教えたり、ヨガなどの健康教室の
指導に対して、適切な賃金を支払います。

希望の居場所に「まかない」をつけます。持ち寄った食材を楽しく料理します。調理器具や調味料など
は用意します。食を楽しみ、豊かになります。相互扶助の環境を作り、人生のセーフティネットを創ります。
認定NPO法人は、寄付を受け付けられます。寄付を集め、相互扶助の環境を大きくしていきます。集う
人の老後の不安を払拭し、希望を持てる環境にします。

■ 未来社会の相互扶助・・・ 金・モノのシェアリングエコノミー

認定NPO法人を目指し、NPO法人を設立します。特定非営利活動法人ですが、事業化していくのにお金を循環させていきます。個人の月会費は、月 3,000 円です。各種の事業を含め、経理処理をガラス張りになります。認定NPO法人取得には、適正な会計の報告が必要です。

会費を徴収し、運営に活かすことは、お金のシェアです。会員をいかに多く集めるかが、事業の要です。普及のために 月会費の 3 分の1を回します。また、居場所のおもてなし環境整備にも 3 分の 1 を使用します。残り 3 分の 1 をテクノロジーなどの運営に充当します。

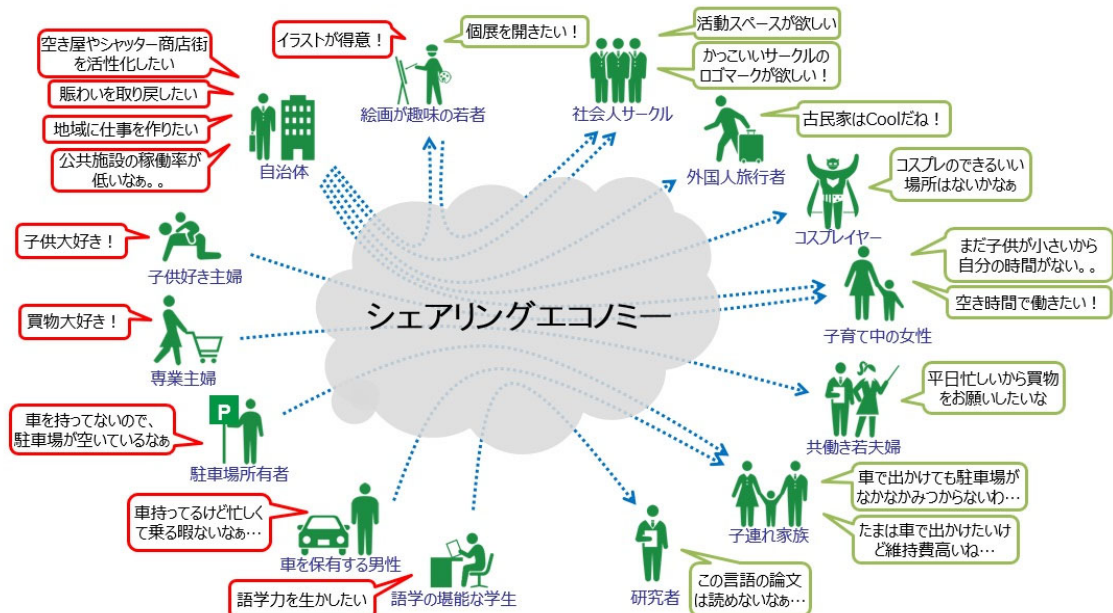


都島基地でのご飯会

入会金もなく、いつでも退会が可能です。会員には、できるだけのおもてなしをします。毎月のチーム夢例会に合わせて ご飯会をしています。食材費は、いただきますが、最大限のおもてなしをしています。「来ていただいて、ありがとうございます」の感謝の心が、この事業化に一番必要と確信しています。

私は、建築関連を生業としています。大工道具や運搬用の車両などを持ち合わせています。これらのモノを会員にシェアします。私は、1 級施工管理技士です。住まいを快適な住空間にできます。多くのモノが各家庭などに眠っています。それらのリスト化を行い、テクノロジーでシェアし、社会に活かします。

ライドシェアという移動のシェアがあります。ほとんど利用していない車両は、たくさんあります。運転出来る自由な時間を持っている人もたくさんいます。会員相互の移動のシェアを行っていきます。気心の知れた希望の居場所メンバーによるシェアは、高齢化社会で重要となります。



上記のシェアリングエコノミーのように今後更に多岐にわたり広がっていきます。ここに必要なのが、人とのつながりです。コミュニティです。テクノロジーを使いながら楽しく豊かな環境を希望の居場所が作っていきます。未来社会の地上の楽土を作っていきます。

■ 2025年までに株式上場をする

NPO法人を設立し、認定NPO法人希望の居場所と発展させます。シェアリングエコノミーを使い、また、普及活動を推進し、会員を1万人以上に増やしていきます。この活動は、社会貢献活動であり、会員増強活動です。CSRの対象となり、社会的信用や実利を得ていきます。

認定NPO法人希望の居場所の戦略は、更なる事業化にあります。日本社会のシェアリングエコノミーは大きく発展します。**株式会社ライフシフトを設立**します。多くの会員をベースにして、(株)ライフシフトがシェアリングエコノミーの発展に寄与します。高いテクノロジーのプラットフォームを構築するには、株式会社でなければなりません。コミュニティ運営の希望の居場所と両輪で活動して、大きな成果を築き上げます。テクノロジーの高度化や空き家利活用の居場所増設により、資本増強が必要となります。ファンドと提携し、その後2025年までに(株)ライフシフトを株式上場するという目標設定をしています。

私のミッションは、「人を活かす場を創り、社会を進化発展させる」です。つまり、社会貢献活動が主であります。笑顔が特徴の阿闍梨です。(株)ライフシフトの株式上場を側面から支援していきます。年齢的にも限界です。

私は、年間365本のYouTubeの投稿をします。希望の居場所のファンづくりをします。3つのコンテンツを持って、YouTubeに投稿し、共感と支援の輪を広げていきます。

- ① 感謝の心 コミュニティ運営や会社のマネジメントの根幹は「感謝の心を持つ」と信じます。
- ② 夢七訓 夢を持ち、志とし、計画し、実行し、成果を上げ、幸せとなる
- ③ 相互扶助 利他の精神 人と人のつながりには、相手を思いやる心が大事

2025年大阪万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。シェアリングエコノミーを使い楽しい豊かな希望の居場所は、テーマそのものです。(株)ライフシフトを上場させ、大阪万博に出展します。

2025年までの事業目標

2019年10月	NPO 法人希望の居場所の設立申請
2019年10月	第4回1000人文化祭「シェアリングエコノミーを使った楽しい豊かな希望の居場所」をプレゼン
2019年11月	スタッフを雇用、プレ会員を募集
2020年1月	NPO 法人希望の居場所設立
2020年3月	希望の居場所 2番目の基地設置
2020年6月	会員1000人超
2020年7月	株式会社ライフシフト設立
2020年10月	基地3か所増設
2021年1月	認定特例NPO法人希望の居場所となり、寄付を受けていく
2023年7月	(株)ライフシフトの株式上場の幹事証券会社設定
2025年3月	(株)ライフシフト 株式上場
2025年5月	大阪万博に認定NPO法人希望の居場所が出展する